

1. 主題：化学工学会 SIS・CE 分科会（関東）定例会合
2. 日時：2016年3月2日（水） 15:30～17:30
3. 場所：三井造船株式会社（幕張）、281会議室

4. 会議出席者（敬称略）：注：カッコ内は欠席者

- |                  |                         |
|------------------|-------------------------|
| ・三井造船：寺澤、（橋本）、廣瀬 | ・三井造船プラントエンジニアリング：砂山、伊與 |
| ・クボタ環境サービス：（中森）  | ・月島機械：（村田）              |
| ・東洋エンジニアリング：（中島） | ・原                      |

備考：中森氏については、3月23日に原が訪問し、3月2日の会合報告を実施。又、中森氏が個人での調査研究テーマを実施することが難しいが奈良橋氏との協働作業を検討している。

5. 議題及び議事録：

- (1) 2016年に関東会合として取り組む調査・研究テーマについて

①今秋の秋季大会では関東から2件から3件（3件が目標）を発表する。

②秋季大会シンポジュームのテーマは：「不確実性時代のコストエンジニアリング」

徳島大学で9月6日から8日まで開催。このシンポジュームは9月7日を希望している。

③参加者で検討の結果、関東会合での個人テーマとして以下の2件が決定した。（2件とも部門の課題に直結しており、取組みは開始されている。）

尚、この2件は秋季大会シンポジュームで発表する。又、これらにつき、関東会合として進め方、内容などについてアドバイス、支援していく。

1. 見積もり作業の省力化：砂山氏
2. 見積もり時のリスク管理：廣瀬氏

④秋季大会でもう1件の発表を継続して検討する。

⑤シンポジューム発表論文に関するスケジュールは概ね以下のとおり。

5月上旬：シンポジュームでの発表の申込み（タイトルと数行の概要記載）

7月中旬？：発表論文要旨の提出（化学工学会宛て）

7月末：当分科会で合宿（発表論文内容はほぼ完了している事が必要）

従って、これから論文内容を検討し、論文としての1件書類にするが時間は少ない。

（多くて3月～6月末の4か月間）この少ない期間を考慮して論文を作成する。

6. 新規メンバーの勧誘について

- ①口コミが良いが難しいことも。
- ②当分科会のHPオープンに合わせ、そこに勧誘記事を掲載する。
- ③その他の方法を検討する。

7. 次回会合

(1) 日時：2016年4月14日（木）、14時～17時半

場所：三井造船（海浜幕張）を予定。

記録：副幹事 原